

CALE's 20<sup>th</sup> Anniversary  
- Promoting Legal Research, Education, and Cooperation  
in Asia: Learning from the Past, Looking to the Future.

*Congratulatory Message  
for CALE 20th-Anniversary  
from former Nagoya University leadership*

濱口 道成  
第13代総長（日本）



CALE20周年おめでとうございます。皆様にお目にかかれない事は残念ですが、振り返れば走馬灯のように、皆様とアジアの拠点を築き、人材育成の壮大な作業を進めた頃が懐かしく思われます。

'19年末より始まったコロナ禍は、多大な犠牲を生み、世界を大きく変えています。'20年春、ハラリー博士は、コロナ禍により世界が2つの選択を求められていると述べています。即ち①「全体主義的監視」か「市民のエンパワーメント」か、②「国家主義的な孤立」か「グローバルな結束」か、です。残念ながらこの2年間、世界の民主主義スコア(V-Dem2022)は、大きく減退しています。今、民主主義、人権、法の支配を伝えるCALEの活動は、大転換する歴史の最前線に有ります。ご活躍を切に祈念します。

森嶋 昭夫  
名古屋大学名誉教授、弁護士（日本）



CALE20周年記念心からお祝いをいたします。アジア太平洋諸国の現代法政治制度について調査研究して情報を集積するとともに、アジア各国の研究機関・研究者と交流する、というCALEのアイデア（運営方針）は、実は、私が法学部長であった1990年初めに在職の皆さんと議論しながら創り上げたもので、法学部卒業生や名古屋経済界の1億円拠出等の支援によって事業が可能になりました。その後の歴代学部長も引き続きこの事業を拡大強化されました。留学生教育も充実しました。文科省から公式にセンターの地位を認められた記念日に、井戸を掘った人、井戸の水を枯れないようにしている人、を想起して頂ければ幸いです。

佐分 晴夫  
名古屋大学名誉教授、名古屋経済大学学長（日本）



名古屋大学法政国際教育協力研究センター設立20周年おめでとうございます。設立当初からかかわった者として感無量です。名古屋大学が力を入れてきた、市場経済制度を導入したアジア諸国に対する法整備に携わる人材の育成は、法律は文化であり正しく理解されるためには日本語で教育をする必要があるという考えの下で、日本法教育研究センターを各国に設置し、多くの関係者の努力で大きな成果をあげつつあります。市場経済の在り方が問われている現在、新たな秩序を求めて、共同研究が進むことを期待しております。

佐々木 雄太  
CALE初代センター長、名古屋大学名誉教授（日本）



「CALE」の由来について申し送ります。  
発足当時のCALEの主な事業は、「社会主義」の国から「資本主義」の国に転じたアジアの国々（インドシナ3国及び中央アジア諸国とモンゴル）の「法整備支援」でした。センターの英語名称を決める時に、私はCenter for Legal Assistanceと考えていましたが、フランク・ベネットさんがLegal Exchangeが妥当だと提案してくれました。「法整備」には、一方的な「支援」ではなく「双方向的な思考や作業」が重要であることを考えると、もっともな提案でした。こうしてセンターはCALAではなく「CALE」と定まりました。CALEにとってこれからは大事な考え方だと思います。

杉浦 一孝

CALE 第 2 代センター長、名古屋大学名誉教授（日本）



CALE 設立 20 周年おめでとうございます。

私は、CALE 設立後の 2002 年 6 月 1 日から 2006 年 3 月 31 日まで、センター長としてアジア法整備支援事業に携わり、その後も、2008 年 4 月 1 日から 2 年間、大学院法学研究科長として、当時の鮎京正訓センター長とともに、この事業に取り組んできました。今は、このことを懐かしく思い出しますが、当時は、本来の研究・教育に加えての国際貢献事業でしたので、かなりしんどい仕事だと思っていました。

CALE が引き続きその使命を自覚しつつ、アジア法整備支援に係る研究・教育の領域で着実に成果をあげられることを期待しております。

鮎京 正訓

CALE 第 3 代センター長、名古屋大学名誉教授、愛知県公立大学法人理事長（日本）



CALE 創立 20 周年おめでとうございます。CALE が設立された時代は、同時に文部省特定領域研究”アジア法整備支援”という大型科研が採択された時期でもありました。あれから 20 年。アジア諸国法研究も大きく発展し、また法整備支援も日本法務省、JICA を中心に着実に前進してきました。CALE の今日的な課題は、大学でなければできないアジア諸国法研究を果たすことです。デジタル化の今日、アジア各国の卒業生を主体にして、研究ネットワークを作り上げ、各国の法情報、法理論を集約し、社会に公開することです。それが新しい CALE の姿であると確信します。

市橋 克哉

CALE 第 4 代センター長、名古屋大学名誉教授、名古屋経済大学法学部特任教授（日本）



CALE の創立 20 周年、おめでとうございます。文科省令に基づく国の正式組織となり 20 年を迎えたことは、名古屋大学にとってだけでなく日本の法整備支援・協力の歴史のうえでも、意義深いことだと思います。20 年の歴史でその中期（日本法センターを次々と各地に設置した時期）にあたる 2010 年から 13 年まで、センター長を務めました。当時、活動の「追い風」となったグローバル化は、今、「排除」を進めるブロック化の時代へと暗転し、CALE にも「影」を投げかけていると思います。CALE には、分け隔てなく「包摂」して協力するという理念に基づく活動を、ぜひ引き続き推進されることを期待しています。


國分 典子

CALE 第 5 代センター長、法政大学法学部教授（日本）



CALE 創立 20 周年を心からお慶び申し上げます。

20 年前は日本の法学のなかで「アジア法」という言葉が定着し始めた時期でした。その重要な一翼を CALE 創設者の方々が担って来られました。私自身、CALE を通じてアジア法研究者との繋がりを育めたことを改めて深く感謝申し上げます。法整備支援に関しては、かつてソフトパワーが弱いと言われた日本、その中でも大学の一機関にすぎない CALE が世界的に稀有な法学教育支援を行ってきたことは今も他の追随を許さない貴重な成果です。先の見えにくい世界でスタッフの皆様には日々ご苦勞が多いことと思いますが、ますますのご健勝を祈念申し上げます。



**CALE**

CALE's **20** th Anniversary  
- Promoting Legal Research, Education, and Cooperation  
in Asia: Learning from the Past, Looking to the Future.

***Congratulatory Message  
for CALE 20th-Anniversary  
from domestic partners***



**蜂須賀 太郎**  
愛知県弁護士会会長（日本）



名古屋大学法政国際教育協力研究センター(CALE)が設立 20 周年を迎えられたとのこと、誠におめでとうございます。  
この名古屋の地において、アジア諸国に対する法整備支援研究に関する国内外屈指のグローバルネットワーク拠点があるということは、大変誇りに思っております。  
私ども愛知県弁護士会は、この地域における実務法曹が集う団体として、日々最前線で法律実務に携わっております。そのような実務団体と、CALE のようなグローバルな視点を持つ研究者・教育機関が交流することにより、新たな視点で法理論の研究が進んだり、双方の団体での人材育成が行われてきたりしたことは大きな意義を有してきたと思っております。  
今後もグローバル化の波が止まることはないと思われまますので、これからも両団体で有意義な交流を続けさせていただければと思います。

**中野 正康**  
一宮市長（日本）



設立 20 周年、誠におめでとうございます。貴センターが、設立以来、国内外に優秀な人材を多数輩出されましたことに、深く敬意を表します。2005 年の愛・地球博では、鮎京正訓名誉教授のご紹介によりウズベキスタン共和国と一宮市の交流が始まり、現在も同国を中心としたアジア各国の留学生と市民交流が続いています。コロナ禍で混迷を極める国際情勢である現代こそ、アジア地域の平和と安定は世界の重要な課題であり、若い世代による未来志向の人的交流の継続が必要です。貴センターにおかれましては、アジア各国の機関の連携協力の中心として、今後ますますご発展されますことを祈念いたします。

**境 敏幸**  
株式会社 大垣共立銀行取締役頭取（日本）



名古屋大学法政国際教育協力研究センターが設立 20 周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。経済発展著しいアジアにおいて、長年にわたり各国の法整備支援をしてこられたことに敬意を表します。また修了生の方々が自国の中枢で要職に就かれ活躍されていることは、正に貴センターの人材育成が実践的かつ有意義であったことの証であります。OKB 大垣共立銀行は中国、ベトナム、フィリピンに拠点を有しており、引き続き皆さまと協働しアジア地域の発展に寄与する活動をしてまいりますとともに、貴センターの今後の益々のご発展を心からご祈念申し上げます。

**藤田 美保**  
かにえ国際交流友の会会長（日本）



日本法教育研究センターの創立 20 周年おめでとうございます。研修学生短期ホームステイの当会での引き受けは、2009 年からコロナ禍で中止になるまで 10 年間で学生数は 57 名でした。始まって翌年からは当会の年間定例行事になりましたが、最初のうちは引き受け先家庭を見つけるのに苦労しました。ただ、滞在学生との交流は評判がよく、後半ではお願いするのが段々と容易になってきました。このホームステイの目的の一端は、日本の家族と一緒に過ごして家庭生活を垣間見る機会とするものだと思います。これは私達の国際交流の観点からも望ましい活動でしょう。コロナ禍後の再開を願っています。

石川 末雄  
幸田町国際交流協会相談役（日本）



「20周年」おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。当会の開催は毎年8月中～下旬であったと思います。丁度その頃は当町においては町主催の夏まつりの時期でもあり、生徒の皆さんは、ホストファミリーの方々と一緒にユカタを着てご参照され「盆踊り」や「花火見物」を楽しんで頂いております。ボーリング大会も数回行いました。今も強く印象に残っているのは、2013年に来町して頂いた女学生さんの熱心なお誘いで、ホストファミリーの両親が3年後に、彼女の国を訪問され素晴らしい観光、交流をされました。彼女は現在千葉に同国人の主人と子供と三人で生活している、そうです。CALEのプログラムに協力させて頂けることは私共の協会の誇りとする事業でもあります。

宮崎 桂  
JICA ガバナンス・平和構築部部长（日本）



このたびの設立20周年を迎えられるにあたり、心からお祝い申し上げます。貴センターの法整備支援事業を通じたアジアの国々の人づくり、国づくりへの長きにわたるご貢献に心から敬意を表するとともに、研修員や留学生の受入等を通じて弊機構の国際協力事業への多大なご協力に厚く御礼申し上げます。コロナ禍に加えて国際秩序が動揺する今日、一人ひとりの権利や自由を守ることは益々重要になって参りました。人間の安全保障、そして平和と安定の実現をめざし、開発途上国における法の支配の促進に向けて共に取り組むパートナーとして、貴センターの益々のご発展を祈念しております。

小杉 丈夫  
公益財団法人 国際民商事法センター理事（日本）



設立20周年おめでとうございます。関係者の皆様に心からお祝いを申し上げます。貴センターの活動は、アジア諸国の若者に日本文化と日本法を学んでもらうばかりでなく、法学研究科との連携の下、日本の若い世代と彼等との交流を通じて、日本人の人材育成にも大きく貢献されていることが特筆されます。コロナ禍で難問が山積する中、オンライン授業の活用をはじめ、新しい手法を開発されるなど、afterコロナを見据えて前向きに取り組んでおられ、その逞しさと飽く無きチャレンジ精神に心を打たれております。貴センターの益々の御発展を祈念します。

森永 太郎  
国連アジア極東犯罪防止研修所 (UNAFEI) 所長（日本）



CALE20周年、誠にありがとうございます。また、同じく法整備支援の仕事に携わってきた者として、これまで数多くの場面でCALEからのご協力、ご支援を頂いたことに、この場を拝借して心から感謝申し上げます。途上国の法律界に新たな、優秀な人材を送り込んできたCALEの輝かしい業績は、我が国の誇りです。私は何度も日本法センターの学生さんや卒業生とお話する機会を頂きましたが、そのたびに彼ら、彼女らの知識、能力に驚かされ、その向上心と、自分の国を良くしようとする熱意に感銘を受けました。人々の将来は明るいようです。一層のご活躍をお祈りしています。

**村瀬 幸雄**  
十六銀行会長（日本）



CALE 設立 20 周年を心よりお祝い申し上げます。奨学金等によりご支援する機会に恵まれたことを誇りに感じています。アジア各国への法整備支援や人材育成の具体的な活動は、日本の大学でも例を見ない画期的かつ先進的な取り組みです。修了生は母国をはじめ国内外で要職に就き、世界的なネットワークを形成し活躍されています。アジア諸国は、この 20 年間に目覚ましく発展していますが、CALE による各国への同窓生の輩出、法インフラの充実が大きく寄与されていると確信しております。貴センターが日本を代表するアジア法研究機関として、益々ご発展されることを祈念申し上げます。

**筒井 宣政、筒井 陽子**  
(株)東海メディカルプロダクツ会長、副会長（日本）



CALE 設立 20 周年、心よりお喜び申し上げます。CALE の拠点であるアジア法交流館の設立趣旨に賛同し、館内に茶室を寄贈し、亡くなった次女佳美の戒名にちなんで「白蓮庵」と命名させていただきました。先天性心臓疾患だった佳美を何とか救いたいという思いから人工心臓の研究を始めて医療業界に入り、国産初で IABP バルーンカテーテルを開発まで至りましたが佳美は救えませんでした。佳美は茶道が好きで、日本文化の素晴らしさ沢山学んでいました。CALE に集う世界中の人々が寄贈した茶室で日本文化に触れ、心通わす良い機会となることを心より祈っております。

**牧山 嘉道**  
日本弁護士連合会国際交流委員会委員長（日本）




名古屋大学法政国際教育協力研究センター（CALE）が設立 20 周年を迎えられたこと、心よりお祝い申し上げます。CALE の活動には、当委員会の弁護士も、セミナー等への参加、各国の日本法教育研究センター（CJL）の法学特任講師としての赴任、各国 CJL の学生に対する指導の補助等で協力させていただいています。CJL の学生は、それぞれの国における問題に法的思考を駆使して取り組み、流暢な日本語で発表、議論を行い、CJL 卒業後も各国で活躍されており、CALE の「日本語による日本法教育」の素晴らしさを実感しています。今後も、当委員会は、CALE の活動に対して協力していきたいと、考えています。

**矢橋 龍宜**  
矢橋ホールディングス株式会社代表取締役社長（日本）



CALE 設立 20 周年誠にありがとうございます。  
新興国にとって法整備は投資家及びその国の国民にとってどうしても必要な事です。CALE から巣立った人材はその国を支える法律家となり、また親日家となって両国との関係を強い絆で結んでいただける事と思います。  
この 20 年間の CALE の仕事は関わられた各国の基礎となって、今後益々その効果が表れて来ることでしょう。日本人の一人として大変誇りに思っております。これからの 20 年更に活動を広げられて、各国の法整備に御力を入れて頂きますよう心よりお願い申し上げます。





**CALE**

CALE's **20** th Anniversary  
- Promoting Legal Research, Education, and Cooperation  
in Asia: Learning from the Past, Looking to the Future.

***Congratulatory Message  
for CALE 20th-Anniversary  
from foreign partners***



## Yuok Ngoy

Secretary of State, Ministry of Education, Youth and Sport, Kingdom of Cambodia



Congratulations on the CALE's 20th anniversary!

20 years has passed, CALE has tried hard to build up international cooperation and research work. From the inception of mutual cooperation between the Royal University of Law and Economics and Nagoya University Graduate School of Law, many graduates from Nagoya University have played a vital role in contributing to Cambodian legal system and education. We are proud to have tight cooperation with Nagoya University. We believe that in the future, CALE will bring highly recognized legal research in Asia and beyond. Moreover, international events which can bring back alumni and other researchers around the world to discuss and share opinions at CALE are also crucial for exchanging legal practices.

## Luy Channa

Rector, Royal University of Law and Economics (Cambodia)



Cambodian public university which has been working for years with Nagoya University to congratulate CALE on its 20th Anniversary. RULE has been benefiting from the support of Nagoya School of Law and CALE since September 5, 2008 with the establishment of the Education and Research Center for Japanese Law (CJL). Its mission is to nurture specialists with an understanding of Japan's society, culture, language, and law. It has been providing Cambodian students Japanese Language education and Japanese Law education in Japanese.

We hope that CALE will continue to develop such interesting programs and we intend to constantly increase our cooperation with CALE and Nagoya University in the future.

## Hor Peng

GSL Alumni, Rector of National University of Management (Cambodia)



1. I am honoured to be invited to send a congratulatory message to the 20th Year Anniversary of CALE and inaugural ceremony and international symposium on September 20 and 21, 2022 to be hosted by CALE.
2. As an Alumni member of Nagoya University, Graduate School of Law from 1999-2005 (LLM and LLD Program) and on behalf of the National University of Management, I would like to express my gratitude to the university and all professors, and appreciation to CALE and its activities with NUM in legal education and research. I wish to continue our international cooperation in legal education and research activities in the areas under the framework of digital economy and society.
3. I would like to take this opportunity to extend my invitation to CALE and all its partners, scholars, and researchers to join NUM's newly established ASEAN Economic Research Institute (AERI) to promote legal research activities related to ASEAN and the region.
4. I wish CALE for the successful hosting of international symposium and all participants stay healthy and prosperity.

## Viengvilay Thiengchanhxy

GSL Alumni, Member of the National Assembly of the Lao PDR,  
Dean of the Faculty of Law and Political Science, National University of Laos (Laos)



“I feel extremely privileged to have attended and continue to attend the Graduate School of Law at Nagoya University in Japan. This sentiment is shared by many Lao students who have attended this institution. I will never forget that since its inception, CALE of the Nagoya University has conducted a variety of activities in the development and exchange of legal cooperation among Asian nations, including Lao PDR. On the occasion of the 20th anniversary of CALE's founding, may this center be forever stable and flourish alongside GLS, Nagoya University, and us.”

## Philachanh Phomsuvan

GSL Alumni, Head of Labour Chamber, Justice of the people's supreme Court (Laos)



Congratulation, CALE 20-year's establishment anniversary.

For almost a decade I have been studying the LLM and LLD course at Nagoya University, it's unforgettable memory; I've had the chance to join CALE activities and the legal forum organized by CALE to develop legal manual and exchange international experiences of law by inviting legal experts and law professors from Asian countries both held at Nagoya and places such as Tokyo or Osaka. CALE is remarkably extended international relations which is well-known today. I'm very proud of myself and my sons for having a chance to study at the Faculty of Law, NU which joins CALE activities as same as I have done in the past. On the occasion of the auspicious 20th anniversary, with CALE staffs and professors have good health, fulfill duties, and reach the targets of CALE.

## Than Nwe

Part-time Professor, Department of Law, University of Yangon (Myanmar)



It is my privilege to congratulate on this auspicious occasion of Center for Asian Legal Exchange's 20th Anniversary. Since 2013, CALE has established Myanmar-Japan Legal Research Center for further collaboration between the University of Yangon, Myanmar and Nagoya University of Japan. It has been fruitful in academic cooperation between two countries; such as student exchange programs, visiting research fellow programs, academic conferences for comparative studies, and the collaborative research projects. Because of effective student exchange agreements, Myanmar students have opportunities to gain a broader and worldwide knowledge for their further studies. I appreciate the CALE's continuing effort to broaden cooperation between two universities and their endeavors. I would like to conclude my congratulatory remark by having a strong hope that CALE will continue to contribute even further to the enhancement of global network in the future.

## Khin Phone Myint Kyu

Professor and Head of Law Department, University of Yangon (Myanmar)



I am pleased to congratulate and warmly welcome the CALE's 20th Anniversary. The CALE has been working together with the University of Yangon since the MoU has been signed between Nagoya University, Japan, and the University of Yangon, Myanmar, in 2013. Partner universities of CALE altogether analyze and aim to understand the concept and ideas, the theoretical background, and practical experience of the legal view of comparative aspects in different countries. It is a tool for sharing ideas, knowledge, and expertise by enhancing theory, application, and practice. So, I believe that the activities of CALE are sure that CALE will become a valuable platform for collaboration and sharing research findings, insights, and distinguished scholars around the world. I would like to extend my sincere congratulations and best wishes for the success of CALE.

**S. ナランゲレル**  
モンゴル国立大学名誉教授（モンゴル）



名古屋大学に CALE が設立されたことは、モンゴルの法学教育と法学研究に大きな影響を与えたと常に考えてきました。CALE の活動により両大学の協力関係がさらに拡大し、その多面的な活動の成果をモンゴル国立大学、そして法学部の多くの教員、卒業生が享受してきました。CALE の設立に関わりこれまで誠実に支えて来てくださった先生方、大きな役割を果たした日本政府、文部科学省の代表者に深く感謝申し上げます。CALE の活動・業績を引継ぎ維持していくことが、今後も我々の重要な目的であると信じております。CALE20 周年のお祝いを申し上げますとともに、ご活動のご成功をお祈り申し上げます。

**Amarsanaa Batbold**  
GSL Alumni, Dean, School of law, National University of Mongolia (Mongolia)



It is my pleasure to congratulate CALE as it celebrates 20th anniversary in the year 2022. Since its founding in 2002, the CALE has become highly recognized institution worldwide for its innovative approaches to law and development in the context of Asian developing countries. I am confident that CALE will continue to play a significant role in deepening understanding between nations in way of advancing legal research, training and legal information exchanges.

The past years have been challenging times due to the pandemic, but occasions like this are a wonderful reminder that great things are still happening. It is my hope that everyone affiliated and/or in cooperation with the CALE takes time to reflect as well as pride in all the incredible accomplishments of the past 20 years. Thank you to the faculty, staffs, donors, professionals, and students both past and present, for your hard work to make CALE one of the leading centers for education and research in its region. Once again, I, on behalf of School of Law of the National University of Mongolia, congratulate you on 20 years of history-making. We look forward to working with you in supporting CJLM activities at my institution.

**Dashbalbar Gangabaatar**  
GSL Alumni, Justice, Constitutional Court of Mongolia (Mongolia)



On behalf of the alumni members in Mongolia, I would like to extend my warmest congratulations on the 20th anniversary of the Center for Asian Legal Exchange. Activities of CALE made remarkable positive impacts on the development of legal systems in Asian countries. It has produced hundreds of graduates who contributed to the strengthening of constitutional democracy in their respective countries. I, myself, am a proud alumnus of the Graduate School of Law, Nagoya University. I am confident that CALE will continue to play an important role in the advancement of legal research and education in Asian countries.

I look forward to witnessing the continuous success of CALE in its future endeavors.

## Akmal Saidov

Director the National Human Rights Center of the Republic of Uzbekistan



Milestone in sight is a sign that CALE has established itself as a regional leader in legal thought. This is a cause for celebration and best wishes are due from NCHR and the people of Uzbekistan for we intend to witness bigger peaks scaled in cooperation. Throughout 2020-2022, the NCHR, in collaboration with CALE organized a number of events to discuss legal issues in the field of constitutional law, international law and human rights as well as to exchange experience and opinions. In a short period of time since signing the MoU between our Centers in July 2021. We have been able to benefit profusely from this cooperation through exchange of expertise, workshops, support in new initiatives, as well as bilateral and multilateral conferences. Despite the restrictions imposed by pandemic CALE participated actively in web-forums on Youth Rights and other conferences. May the 20th anniversary of CALE give an impetus for the close collaboration between our two organisations.

## Rustambaev Mirzayusuf

Head, University of Public Safety (Uzbekistan)



Since 2002, various academic and educational projects between Nagoya University and Tashkent State University of Law have been implemented and all these contributed to the deepening of our friendship relations based on mutual and sincere trust and respect. Students of Center for Japanese Law are still enjoying the opportunity of learning both Japanese language and law directly by Nagoya University professors. Many graduates of the Center pursued their graduate studies to Nagoya University and majority of them are working in key positions in the government of Uzbekistan. Some of them continued their scientific research on legal issues and sharing their knowledge and experience with Uzbek students. Today I want to congratulate my colleagues from CALE, Nagoya University, with whom I have been collaborating for 20 years on their anniversary and wish everyone great success and achievements.

## Akbar Tashkulov

Rector of the Tashkent State University of law (Uzbekistan)



On behalf of Tashkent state university of law, I am pleased to offer my warmest congratulations to the Centre for Asian legal exchange (CALE) to celebrate its 20th anniversary.

The 20th anniversary is a time for reflecting on the past and looking ahead to the future. Based on the solid foundation of the University, CALE has assisted countries in Asia to build up legal systems suitable for the process of nation-building. I earnestly hope that the Center will garner more wisdom, enthusiasm and expertise from a broad spectrum of related people to help perpetuate its contributions to the society in the legal arena.

I am confident that with the strong leadership and devoted faculty and staff, the Centre will achieve new heights in all spheres in the years to come.

## Akmal Burkhanov

GSL Alumni, Director, Anti-corruption Agency (Uzbekistan)



Personally and on behalf of my entire organization, let me extend my heartiest congratulations to you for completing 20 glorious years of success.

During all those years, you have done a lot of assistance to Uzbekistan on legal reforms, as well as research and education.

And I may assure that CALE has one of the best reputations in legal international cooperation across the world.

I wish all the success for many more years to come. And very much looking forward to further deepen our joint cooperation activities in the near future.

Congratulating you once again on this important Anniversary!



## Le Thanh Long

GSL Alumni, Minister of Justice, Socialist Republic of Vietnam (Vietnam)



It is my great pleasure to write on behalf of the Ministry of Justice of Viet Nam and as a Nagoya Alumnus to extend my sincere gratitude and warmest congratulations to the Center for Asian Legal Exchange on its 20th Anniversary. We acknowledge and highly appreciate the outstanding achievements of CALE over the past 20 years, especially those in promoting legal exchange between Japan and Viet Nam, and in supporting the training of legal professionals and legal officials of Viet Nam in general and of the Ministry of Justice in particular.

I am confident that CALE will continue to play its pivotal role in the advancement of legal exchange in Japan and the surrounding region. I look forward to witnessing CALE to achieve many more milestones in the future and hope CALE will continue to actively support the training of Viet Nam's highly qualified legal officials, thereby contributing its part to strengthening the Vietnam - Japan Extensive Strategic Partnership.

## Pham Quang Hieu

GSL Alumni, Vice-Minister of Foreign Affairs, Socialist Republic of Vietnam (Vietnam)



名古屋大学元留学生で、現在ベトナム外務省副大臣として活動している Pham Quang Hieu でございます。

法政国際教育協力研究センター(CALE)設立 20 周年、おめでとうございます。

現在、ベトナムと日本は、2023 年の日越外交関係樹立 50 周年を迎えています。

日本・ベトナム戦略的パートナーシップの関係は、司法協力分野を含むすべての分野において、友好に発展しております。その発展における CALE の積極的な貢献、両国の法律分野の協力活動、及びベトナムへの人材育成について、高く評価されています。

この度、CALE の更なるご発展、そしてこれまでにないベトナムと日本の最良の関係に引き続き貢献できるように祈念いたします。

## Doan Trung Kien

Rector of Hanoi Law University (Vietnam)



It gives me great pleasure to congratulate the Center for Asian Legal Exchange on behalf of Hanoi Law University for all its achievements since its inception 20 years ago. We are proud of our collaboration with CALE, especially the establishment of the Center of Japanese Law in Hanoi Law University. It is a significant contribution to developing the human resources of Vietnam. Our students have been highly appreciated by the governments of both Vietnam and Japan. I am confident that CALE will continue to play a significant role in promoting legal exchange not only for Vietnam but also for the world. I am confident that CALE will continue to play a significant role in promoting legal exchange not only for Vietnam but also for the world. Thank you for your extraordinary collaboration with our university, and best wishes for continued success.

## Tran Hoang Hai

Acting Rector, Ho Chi Minh City University of Law (Vietnam)



I am delighted to extend my warm congratulations to the Center for Asian Legal Exchange (CALE) on its 20th Anniversary. This is a time for reflecting on the past and looking ahead to the future. Over the past two decades, CALE has assisted countries in Asia, including Vietnam to build up legal systems suitable for the process of nation-building. Based on the support of CALE and Graduate School of Law, Ho Chi Minh City University of Law has developed greatly by increasing the number of law students as well as researchers who are fluent in Japanese.

I keenly look forward to witnessing the continuous achievements of the CALE along its mission of building up legal systems internationally. I would also like to convey my warmest wish for every success of the CALE's celebration of its milestone of the 20th anniversary.

## Dao Tri Uc

Former Director, Institute of State and Law/ Honorary Doctor of Nagoya University (Vietnam)



Warmest congratulations for CALE's 20th anniversary! I highly value our long-term cooperation and wish further prosperity and more achievements for CALE!

## Sarah Biddulph

Director, Asian Law Centre, Melbourne Law School University of Melbourne (Australia)



Congratulations on reaching this wonderful milestone of the 20th anniversary of CALE's founding. The Asian Law Centre has been collaborating with CALE since 2004 through research collaborations, visits and exchanges. Our program to promote academic and research cooperation and exchange was formalised in 2006.

All of us here at the ALC deeply value our longstanding relationship with CALE and our many collaborations. We celebrate your anniversary and the lasting friendships we have developed with members of CALE. We look forward to broadening and deepening our ongoing relationship into the future.

## Herbert Küpper

Managing Director, Institute for East European Law, Regensburg (Germany)



The partnership between CALE and the Institute for East European Law has a long history. Our institutions concluded a cooperation agreement as early as in 2009. The common interest is research on the legal systems in Eurasia and international legal cooperation with the region. Since 2009, our cooperation has been active and mutually beneficial. Japan and Germany are both donor countries, the Japanese perspective is a valuable diversification of our German way to look at Eurasia. We appreciate in the colleagues from CALE their high academic standards, intellectual precision and diligence, and of course their human qualities. I can say that the CALE staff members are not only colleagues, but friends. May our cooperation and friendship continue for many decades to come.

## Kye-Hong Kim

President, Korea Legislation Research Institute (Republic of Korea)



Korea Legislation Research Institute (KLRI) congratulates the 20th anniversary of the Center for Asian Legal Exchange of Nagoya University (CALE)!

The KLRI and CALE have been in a good cooperative relationship since 2006, carrying out various activities together. CALE has been proving its important leading role and position in the international legislative field with rich research and human resources and timely and accurate research outcomes. We value our relationship and hope to see our mutual cooperative relationship to grow even stronger in various areas.

We wish CALE successful years ahead.

## Jaclyn Neo

Associate Professor, National University of Singapore, Faculty of Law



My heartiest congratulations to the Centre for Asian Legal Exchange (CALE) at Nagoya University on the occasion of your 20th anniversary! CALE has done tremendous work in building legal capacity across Asia and in establishing important collaborative networks for the promotion and development of Asian law. The Centre for Asian Legal Studies is proud to have CALE as one of our most valued collaboration partners and we hope to be able to strengthen our connections to advance our joint mission to develop effective intellectual networks and research capacity across our region.